

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2020.9.14-20

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

31:31 見よ。その日が来る。・・主の御告げ。・・その日、わたしは、イスラエルの家とユダの家とに、新しい契約を結ぶ。

31:32 その契約は、わたしが彼らの先祖の手を握って、エジプトの国から連れ出した日に、彼らと結んだ契約のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破ってしまった。・・主の御告げ。・・

31:33 彼らの時代の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうだ。・・主の御告げ。・・わたしはわたしの律法を彼らの中に置き、彼らの心にこれを書きしるす。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

31:34 そのようにして、人々はもはや、『主を知れ。』と言って、おのおの互いに教えない。それは、彼らがみな、身分の低い者から高い者まで、わたしを知るからだ。・・主の御告げ。・・わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪を二度と思い出さないからだ。』

31:35 主はこう仰せられる。主は太陽を与えて昼間の光とし、月と星を定めて夜の光とし、海をかき立てて波を騒がせる方、その名は万軍の主。

31:36 「もし、これらの定めがわたしの前から取り去られるなら、・・主の御告げ。・・イスラエルの子孫も、絶え、いつまでもわたしの前で、一つの民をなすことはできない。」

31:37 主はこう仰せられる。「もし、上の天が測られ、下の地の基が探り出されるなら、わたしも、イスラエルのすべての子孫を、彼らの行なったすべての事のために退けよう。・・主の御告げ。・・

31:38 見よ。その日が来る。・・主の御告げ。・・その日、この町は、ハナヌエルのやぐらから隅の門まで、主のために建て直される。

31:39 測りなわは、さらにそれよりガレブの丘に伸び、ゴアのほうに向かう。

31:40 死体と灰との谷全体、キデロン川と東の方、馬の門の隅までの畑は、みな主に聖別され、もはやとこしえに根こぎにされず、こわされることもない。」

「新しい契約」とあります。イスラエルが始めの契約を破ったからです。このように神様は背信の咎めを負わせて責任追及することが目的ではなく、最後には祝福を与えたいと願っておられる愛の方なのです。

「彼らの心に書きしるす。」とは聖霊によらなければできないことであり、またその大前提は主イエスの十字架です。35節からは万軍の権威ある方が、「この定め」について保証しておられること、38節からはエルサレムの拡張と再建が約束されています。

主は聖なる方、義なる方ですから、私たちには背信は赦されませんが、それも主の愛のゆえであることを知りましょう。そして主は新しい契約を備えてでも祝福してくださることを信じましょう。その本質はイエス様の十字架の救いにありますから、いつもそこに立ち返りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は抜おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



▶15日 火曜

エレミヤ

32:1 ユダの王ゼデキヤの第十年、すなわち、ネブカデレザルの第十八年に、主からエレミヤにあったみことば。

32:2 そのとき、バビロンの王の軍勢がエルサレムを包囲中で、預言者エレミヤは、ユダの王の家にある監視の庭に監禁されていた。

32:3 彼が監禁されたのは、ユダの王ゼデキヤがエレミヤに、「なぜ、あなたは預言をするのか。」と尋ねたとき、エレミヤが次のように答えたからである。「主はこう仰せられる。『見よ。わたしはこの町をバビロンの王の手に渡す。それで、彼はこれを攻め取る。』」

32:4 ユダの王ゼデキヤは、カルデア人の手からのがれることはできない。彼は必ずバビロンの王の手に渡され、彼と口と口で語り、目と目で、彼を見る。

32:5 彼はまた、ゼデキヤをバビロンへ連れて行く。それでゼデキヤは、わたしが彼を顧みる時まで、そこにいる。・・主の御告げ。・・あなたがたはカルデア人と戦っても、勝つことはできない。』」

32:6 そのとき、エレミヤは言った。「私に次のような主のことばがあった。

32:7 見よ。あなたのおじシャルムの子ハナムエルが、あなたのとこるに来て、『アナトテにある私の畑を買ってくれ。あなたには買い戻す権利があるのだから。』と言おう。

32:8 すると、主のことばのとおり、おじの子ハナムエルが私のところ、監視の庭に来て、私に言った。『どうか、ベニヤミンの地のアナトテにある私の畑を買ってください。あなたには所有権もあり、買い戻す権利もありますから、あなたが買い取ってください。』私



は、それが主のことばであると知った。

32:9 そこで私は、おじの子ハナムエルから、アナトテにある畑を買い取り、彼に銀十七シケルを払った。

32:10 すなわち、証書に署名し、それに封印し、証人を立て、はかりで銀を量り、

32:11 命令と規則に従って、封印された購入証書と、封印のない証書を取り、

32:12 おじの子ハナムエルと、購入証書に署名した証人たちと、監視の庭に座しているすべてのユダヤ人の前で、購入証書をマフセヤの子ネリヤの子バルクに渡し、

32:13 彼らの前で、バルクに命じて言った。

32:14 『イスラエルの神、万軍の主は、こう仰せられる。これらの証書、すなわち封印されたこの購入証書と、封印のない証書を取って、土の器の中に入れ、これを長い間、保存せよ。』

32:15 まことに、イスラエルの神、万軍の主は、こう仰せられる。再びこの国で、家や、畑や、ぶどう畑が買われるようになるのだ。』と。」

「預言者エレミヤは、ユダの王の家にある監視の庭に監禁されて」いました。主のことばはこのように尊い犠牲によって、この世にもたらされたのだということ覚え、私たちもその同じ信仰にある者として、感謝しつつも誇りを持ち、信仰に恥じない生き方をしましょう。

神様はエレミヤに畑を買い取ることを命じ、そのように神様はイスラエルの民をもう一度買い戻すことを明らかになさいました。このように、信仰者の行動が神様を表すこともありますから、私たちは常に神様に聞いて行動しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



32:16 私は、購入証書をネリヤの子バルクに渡して後、主に祈って言った。

32:17 「ああ、神、主よ。まことに、あなたは大きな力と、伸ばした御腕とをもって天と地を造られました。あなたには何一つできないことはありません。

32:18 あなたは、恵みを千代にまで施し、先祖の咎をその後の子らのふところに報いる方、偉大な力強い神、その名は万軍の主です。

32:19 おもんばかりは大きく、みわざは力があり、御目は人の子のすべての道に開いており、人それぞれの生き方にしがたい、行ないの結ぶ実にしたがって、すべてに報いをされます。

32:20 あなたは今日まで、エジプトの国で、イスラエルと、人の中で、しるしと不思議を行なわれ、ご自身の名を、今日のようにされました。

32:21 あなたはまた、御民イスラエルを、しるしと、不思議と、強い御手と、伸べた御腕と、大いなる恐れとをもって、エジプトの国から連れ出し、

32:22 あなたが彼らの先祖に与えると誓われたこの国、乳と蜜の流れる国を彼らに授けられました。

32:23 彼らは、そこに行って、これを所有しましたが、あなたの声に聞き従わず、あなたの律法に歩まず、あなたが彼らにせよと命じた事を何一つ行なわなかったの、あなたは彼らを、このようなあらゆるわざわいに会わせなさいました。

32:24 ご覧ください。この町を攻め取るうとして、壘が築かれました。この町は、剣とき

きんと疫病のために、攻めているカルデア人の手に渡されようとしています。あなたの告げられた事は成就しました。ご覧のとおりです。

32:25 神、主よ。あなたはこの町がカルデア人の手に渡されようとしているのに、私に、『銀を払ってあの畑を買い、証人を立てよ。』と仰せられます。」

32:26 エレミヤに次のような主のことばがあった。

32:27 「見よ。わたしは、すべての肉なる者の神、主である。わたしにとってできないことが一つでもあろうか。」

32:28 「それゆえ、主はこう仰せられる。見よ。わたしはこの町を、カルデア人の手と、バビロンの王ネブカデレザルの手に渡す。彼はこれを取ろう。

32:29 また、この町を攻めているカルデア人は、来て、この町に火をつけて焼く。また、人々が屋上でバルに香をたき、ほかの神々に注ぎのぶどう酒を注いで、わたしの怒りを引き起こしたその家々にも火をつけて焼く。

32:30 なぜなら、イスラエルの子らとユダの子らは、若いころから、わたしの目の前に悪のみを行ない、イスラエルの子らは、その手のわざをもってわたしの怒りを引き起こすのみであったからだ。・・・主の御告げ。・・・

32:31 この町は、建てられた日から今日まで、わたしの怒りと憤りを引き起こしてきたので、わたしはこれをわたしの顔の前から取り除く。

32:32 それは、イスラエルの子らとユダの子らが、すなわち彼ら自身と、その王、首長、

祭司、預言者が、またユダの人もエルサレムの住民も、わたしの怒りを引き起こすために行なった、すべての悪のゆえである。

32:33 彼らはわたしに、顔ではなくて背を向け、わたしがしきりに彼らに教えるが、聞いて懲らしめを受ける者もなく、

32:34 わたしの名がつけられている宮に忌むべき物を置いて、これを汚し、

32:35 わたしが命じもせず、心に思い浮かべもしなかったことだが、彼らはモレクのために自分の息子、娘をささげて、この忌みきらうべきことを行なうために、ベン・ヒノムの谷にバルの高き所を築き、ユダを迷わせた。」

「あなたはこの町がカルデア人の手に渡されようとしているのに、私に、『銀を払ってあの畑を買い、証人を立てよ。』と仰せられます。」とは、エレミヤの主張です。買い戻してはくれないではないかというのです。

そこで神様は、「イスラエルの子らとユダの子らは、若いころから、わたしの目の前に悪のみを行ない、イスラエルの子らは、その手のわざをもってわたしの怒りを引き起こすのみであったからだ。」と答えられました。

主に間違いはありません。主の御心を受け入れつつ、主からの解決をいただきましょう。

- ①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）
- ②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）
- ③生き方にどう適用しますか？（あなたどの部分を主は扱おうとしておられますか）
- ④この世にあって何を実践しますか？

▶17日 木曜

エレミヤ

32:36 それゆえ、今、イスラエルの神、主は、あなたがたが、「剣とききんと疫病により、バビロンの王の手に渡される。」と言っているこの町について、こう仰せられる。

32:37 「見よ。わたしは、わたしの怒りと、憤りと、激怒とをもって散らしたすべての国々から彼らを集め、この所に帰らせ、安らかに住まわせる。

32:38 彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。

32:39 わたしは、いつもわたしを恐れさせるため、彼らと彼らの後の子らの幸福のために、彼らに一つの心と一つの道を与え、

32:40 わたしが彼らから離れず、彼らを幸福にするため、彼らととこしえの契約を結ぶ。わたしは、彼らがわたしから去らないようにわたしに対する恐れを彼らの心に与える。

32:41 わたしは彼らを幸福にして、彼らをわたしの喜びとし、真実をもって、心を尽くし思いを尽くして、彼らをこの国に植えよう。」

32:42 まことに、主はこう仰せられる。「わたしがこの大きなわざわいをみな、この民にもたらしたように、わたしが彼らに語っている幸福もみな、わたしが彼らにもたらず。

32:43 あなたがたが、『この地は荒れ果てて、人間も家畜もいなくなり、カルデヤ人の手に渡される。』と言っているこの国で、再び畑が買われるようになる。

32:44 ベニヤミンの地でも、エルサレム近郊でも、ユダの町々でも、山地の町々でも、低地の町々でも、ネゲブの町々でも、銀で畑が買われ、証書に署名し、封印し、証人を立て



るようになる。それは、わたしが彼らの捕われ人を帰らせるからだ。・・・主の御告げ。・・・」

神様の回復の預言があるのにも関わらず、イスラエルの現状は悲惨なものでした。それはエレミヤには矛盾に思えましたが、しかしそこに神様の全能による救いがあったのです。つまり、さばきの現状の中で、すでに回復のご計画と約束があったということです。

ここでも、「国々から彼らを集め、この所に帰らせ、安らかに住まわせる。彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。・・・」というように、主の祝福と回復に満ちています。

苦しいことや悲しいことがあっても、そしてそれが自分の不信仰から引き起こしたことであっても、私たちは主の回復があることを信じましょう。その苦しさの中で、すでに神様の回復が始まっていることを、信仰の目で見させていただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



33:1 エレミヤがまだ監視の庭に閉じ込められていたとき、再びエレミヤに次のような主のことばがあった。

33:2 「地を造られた主、それを形造って確立させた主、その名は主である方がこう仰せられる。

33:3 わたしを呼べ。そうすれば、わたしは、あなたに答え、あなたの知らない、理解を越えた大いなる事を、あなたに告げよう。

33:4 まことにイスラエルの神、主は、壘と剣で引き倒されるこの町の家々と、ユダの王たちの家々について、こう仰せられる。

33:5 彼らはカルデヤ人と戦おうとして出て行くが、彼らはわたしの怒りと憤りによって打ち殺されたしかばねをその家々に満たす。それは、彼らのすべての悪のために、わたしがこの町から顔を隠したからだ。

33:6 見よ。わたしはこの町の傷をいやして直し、彼らをいやして彼らに平安と真実を豊かに示す。

33:7 わたしはユダの捕われ人と、イスラエルの捕われ人を帰し、初めのように彼らを建て直す。

33:8 わたしは、彼らがわたしに犯したすべての咎から彼らをきよめ、彼らがわたしに犯し、わたしにそむいたすべての咎を赦す。

33:9 この町は世界の国々の間で、わたしにとって喜びの名となり、榮譽となり栄えとなる。彼らはわたしがこの民に与えるすべての祝福のことを聞き、わたしがこの町に与えるすべての祝福と平安のために、恐れおののこう。」

33:10 主はこう仰せられる。「あなたがた

が、『人間も家畜もいなくて廃墟となった。』と言っているこの所、人間も住民も家畜もいなくて荒れすたれたユダの町々とエルサレムのちまたで、

33:11 楽しみの声と喜びの声、花婿の声と花嫁の声、『万軍の主に感謝せよ。主はいつくしみ深く、その恵みはとこしえまで。』と言って、主の宮に感謝のいけにえを携えて来る人たちの声が再び聞こえる。それは、わたしがこの国の捕われ人を帰らせ、初めのようにするからである。」と主は仰せられる。

33:12 万軍の主はこう仰せられる。「人間も家畜もいなくて廃墟となったこの所と、そのすべての町々に、再び、群れを伏させる牧者たちの住まいができる。

33:13 この山の町々でも、低地の町々、ネゲブの町々、ベニヤミンの地、エルサレム近郊、ユダの町々でも、再び群れが、数を数える者の手を通り過ぎる。」と主は仰せられる。

私たちにも先が見えないということがあります。主は「わたしを呼べ。そうすれば、わたしは、あなたに答え、あなたの知らない、理解を越えた大いなる事を、あなたに告げよう。」と言ってください。イスラエルの現状は希望が持てないようなものでしたが、全能の主の驚くようなみわざが待っているというのです。

主のさばきは恐ろしいものです。また主からの懲らしめは苦しいものです。私たちが罪を犯したときに身に受ける報いは大変なものです。そこには希望も絶たれて未来もないような事態が待っています。

しかし、主の希望もまた驚くべきものです。主の恵みの大きさは想像を絶するもので、主は全能

の力と、永遠無限の愛によってその回復をなしてくださるのです。

主にまっすぐなときも、主との関係がギクシャクしているときも、やはり主に向いてゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



33:14 「見よ。その日が来る。・・主の御告げ。・・その日、わたしは、イスラエルの家とユダの家に語ったいつくしみのことばを成就する。

33:15 その日、その時、わたしはダビデのために正義の若枝を芽生えさせる。彼はこの国に公義と正義を行なう。

33:16 その日、ユダは救われ、エルサレムは安らかに住み、こうしてこの町は、『主は私たちの正義』と名づけられる。」

33:17 まことに主はこう仰せられる。「ダビデには、イスラエルの家の王座に着く人が絶えることはない。

33:18 またレビ人の祭司たちにも、わたしの前で全焼のいけにえをささげ、穀物のささげ物を焼き、いつもいけにえをささげる人が絶えることはない。」

33:19 エレミヤに次のような主のことばがあった。

33:20 「主はこう仰せられる。もし、あなたがたが、昼と結んだわたしの契約と、夜と結んだわたしの契約とを破ることができ、昼と夜とが定まった時に来ないようにすることができるなら、

33:21 わたしのしもべダビデと結んだわたしの契約も破られ、彼には、その王座に着く子がいなくなり、わたしに仕えるレビ人の祭司たちとのわたしの契約も破られよう。

33:22 天の万象が数えきれず、海の砂が量れないように、わたしは、わたしのしもべダビデの子孫と、わたしに仕えるレビ人とをふやす。」

33:23 エレミヤに次のような主のことばが

あった。

33:24 「あなたは、この民が、『主は選んだ二つの部族を退けた。』と言って話しているの知らないのか。彼らはわたしの民を、もはや一つの民ではないと見なして侮っている。」

33:25 主はこう仰せられる。「もしわたしが、昼と夜とに契約を結ばず、天と地との諸法則をわたしが定めなかったのなら、

33:26 わたしは、ヤコブの子孫と、わたしのしもべダビデの子孫とを退け、その子孫の中から、アブラハム、イサク、ヤコブの子孫を治める者を選ばないようなこともある。しかし、わたしは彼らの捕われ人を帰らせ、彼らをあわれむ。」

「正義の若枝」また「彼は…」というのは、メシヤを表していることが分かります。最終的にはそれは主イエスのことです。単に助けてくれるというだけでなく、「正義」をもたらす方です。このように、主からの助けを願うということは、主の正義が行われることをも同時に願うべきであることを知りましょう。私たちも自分のための救いを願うときには、同時に主の義なる御心を実現するように求める必要があります。

19節からは自然界の法則の確かさを述べて、主の約束の確かさを明言しています。なぜなら自然界も同じ主が造られたからです。あらゆることから主の全能の力を感じて、その主からの回復と祝福の確かさに信頼しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



34:1 バビロンの王ネブカデザルと、その全軍勢、および彼の支配下にある地のすべての王国とすべての国々の民が、エルサレムとそのすべての町々を攻めていたとき、主からエレミヤにあったみことばは、こうである。

34:2 「イスラエルの神、主は、こう仰せられる。行って、ユダの王ゼデキヤに告げて言え。主はこう仰せられる。『見よ。わたしはこの町をバビロンの王の手に渡す。彼はこれを火で焼こう。』

34:3 あなたはその手からのがれることができない。あなたはかならず捕えられて、彼の手に渡されるからだ。あなたの目はバビロンの王の目を見、彼の口はあなたの口と語り、あなたはバビロンへ行く。』

34:4 ユダの王ゼデキヤ。ただ、主のことばを聞きなさい。主はあなたについてこう仰せられる。『あなたは剣で死ぬことはない。』

34:5 あなたは安らからに死んで、人々は、あなたの先祖たち、あなたの先にいた王たちのために香をたいたように、あなたのためにも香をたき、ああ主君よと言ってあなたをいたむ。このことを語るのはわたしだ。』・・・の御告げ。・・・」

34:6 そこで預言者エレミヤは、これらすべてのことばを、エルサレムでユダの王ゼデキヤに語った。

34:7 そのとき、バビロンの王の軍勢は、エルサレムとユダの残されたすべての町、ラキシュとアゼカを攻めていた。これらがユダの町々で城壁のある町として残っていたからである。

なければ意味がありません。現実ということは、それが具体的であるということです。エレミヤを通して語られたことは、ゼデキヤがバビロンに捕らえられてゆくということです。

それは破滅のように思えますが、そこから神様のご計画が進み、囚われの地からイスラエルが帰ってくるのです。主の回復と祝福へと向かってもいるのです。

私たちが主の回復と祝福を求めるときには、具体的なみわさを教えていただきましょう。また希望として見せていただきましょう。その幻のゆえに、主に信頼して、正しく喜ばしい道を歩みましょ。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

